

小学校第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年6月26日(火) 2校時
指導者 教育センター所員 島津 真由子

単元名 目的による表し方のちがいを考えよう

教材名 「広告と説明書を読みくらべよう」 (東京書籍 4年上)

1 単元について

(1) 教材観

本教材では、広告と説明書を比べて読む活動を通して、文章には、目的によって表し方に違いがあることを理解し、効果的な述べ方の工夫を読み取る力を付けることをねらいとしている。

ここでは、広告のちらしと取り扱い説明書という実生活に即した2種類の文章が取り上げられている。2つの文章は、同じ商品についての説明的な文章でありながら、書かれている事柄や説明の仕方、写真、色、レイアウトなど大きく異なっている。似ているようで似ていない2種類の文章の書き方や内容を比較・考察することによって、児童は、相手と目的の違いによる説明文の書き方の違いを捉えることができると考える。さらに、実生活において児童の周りには多様なテキストがあふれているが、それらを読んで必要な情報を読み取る力も育成したい。

(2) 児童観

3年生6月に、『ほけんだより』を読みくらべようの学習で、書き方の異なる「ほけんだより」の2つの記事を読み比べ、意図に応じた事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いを学習した。本教材では、広告のちらしと取り扱い説明書とを読み比べ、目的による表し方の違いや述べ方の工夫を学習する。そして、5年生6月の「新聞記事を読み比べよう」につなげたいと考える。

このように、段階的・系統的に実生活の様々なテキストを読み比べ、意図や目的に応じた表現の工夫を読み取る学習をするが、児童にとっては、説明的な文章は物語に比べて親しみにくい傾向がある。本学級の児童へのアンケート結果においても、「物語の学習が好き」が断然多かった。「説明文の学習が好き」を選ばなかった理由として、「説明文は分かりづらい」「物語の方がやさしい感じがする」「物語だったら楽しい」「物語は悲しいところもおもしろいところもあるから」などを挙げている。しかし、4年生ともなれば、知的好奇心が急速に芽生え、新しい知識や情報を得ようとする意欲や関心の強い児童も増えてくる。論理を追求しながら理解するおもしろさや喜びを見い出す学習を提供したい。

(3) 指導観

本文は、「～に気がつきました」というところから始まり、「どんなちがいがあるかたしかめてみましょう」で終わる。そして、終わりに資料が載せてある文章構成である。すなわち、話題の提示→本論→課題の提示という構成になっており、最後は読者が両者を比較する指標が記され、まとめ(結論)は読者に委ねられている。そこで、単元の終末に「広告と説明書の違いをまとめる」言語活動を取り入れ、読み取ったことを書くことによって、読みを一層確かなものにしていきたい。また、広告や説明書の理解を深めるために、音読を重視したい。横書きの読み方、写真や絵についても言語化し音声にして、関心を高めたい。さらに、本教材はこれまでの文章と異なり、デザインやレイアウトの効果を含ま部分が多い。中でも色の効果は極めて高く、色の使い方によって紙面の与える印象は大きく変わる。色のイメージにも触れていきたい。

学習の進め方については、教科書の「てびき」を活用した学習展開を重視して、学習の進め方や取扱い方が児童にもよく理解できるようにし、これからの国語科学習に役立つようにしたい。

ワークシートについては、児童の学習成果が着実に記録され、学習の状況を的確に把握でき、次への適切な指導に役立つものを作成したい。児童にとっては、学習のめあてをつかみ、学習の進め方が

分かるとともに、学習の達成感がもてるようなワークシートを目指したい。

2 単元の目標

- (1) 目的による表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとするができる。
- (2) 表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて、観点に沿って大事な言葉を押さえながら読み取ることができる。
- (3) 接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解することができる。

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・目的による表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとしている。	・表現の仕方や工夫を比較しながら、広告と説明書の違いについて、読み取っている。 【C読むこと(1)イ】 ・広告と説明書を読み比べるときに観点に沿って、大事な言葉を押さえながらまとめている。 【C読むこと(1)エ】	・接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ク)】

4 指導と評価の計画（全8時間）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	○ 学習のねらいをつかみ、 広告と説明書について知る。 ○ 学習計画を立て、学習の見通しをもつ。	・ 教科書P63の扉の言葉から、目的による表し方の違いを読み取る学習であることを確かめる。	【関】 広告と説明書について考え、学習の見通しを立てようとしている。 [ワークシートの記述内容及び発言内容]
二	2 (本時)	○ 広告の目的を確かめ、特徴について読み取る。	・ 広告の目的と特徴を関連付けて考えさせる。	【読エ】 広告の目的と特徴について整理し、まとめている。 [ワークシートの記述内容]
	3	○ 説明書の目的を確かめ、特徴について読み取る。	・ 説明書の目的と特徴を関連付けて考えさせる。	【読エ】 説明書の目的と特徴について整理し、まとめている。 [ワークシートの記述内容]
	4	○ 広告と説明書に書かれている事柄を比べる。	・ てびきの「①書かれていることがら」の違いとそれぞれの目的を関連付けて考えさせる。	【読イ】 広告と説明書の書かれている事柄を比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。 [ワークシートの記述内容] 【言イ(ク)】 接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 [ワークシートの記述内容]

	5	○ 広告と説明書の言葉の使い方や説明の仕方、写真や絵の使い方を比べる。	・ てびきの「②言葉の使い方や説明の仕方」「③写真や絵の使い方」の違いとそれぞれの目的を関連付けて考えさせる。	【読イ】 広告と説明書の言葉の使い方や説明の仕方、写真や絵の使い方を比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。 [ワークシートの記述内容] 【言イ(ク)】 接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 [ワークシートの記述内容]
	6	○ 広告と説明書の色の使い方、順序やレイアウトを比べる。	・ てびきの「④色の使い方」「⑤書かれていることがらの順序やレイアウト」の違いとそれぞれの目的を関連付けて考えさせる。	【読イ】 広告と説明書の色の使い方、書かれている順序やレイアウトを比較し、その違いを文章の目的と関連付けて理解している。 [ワークシートの記述内容] 【言イ(ク)】 接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。 [ワークシートの記述内容]
三	7	○ 広告と説明書の違いを文章にまとめる。	・ 表し方とそれぞれの目的を関連付けてまとめさせる。	【読エ】 広告と説明書の違いについて、読み比べたときの観点に沿って、大事な言葉を押さえながら文章にまとめている。 [ワークシートの記述内容]
	8	○ まとめたものを読み合う。 ○ 単元を通して学習したことを振り返り、学習のまとめをする。	・ 学習したことをこれからの日常生活に役立たせることを促す。	【関】 学習したことを日常生活に生かそうとしている。 [ワークシートの記述内容及び発言内容]

5 本時の指導（2／8）

(1) 目標

広告の目的を確かめ、特徴について読み取ることができる。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ●形成的評価とそれに基づく支援	資料
1 本時のめあてを確かめる。 ○ p. 63の扉の言葉を読む。 ○ p. 70上段のてびきを読む。	○ p. 63の扉の言葉から、目的による表し方の違いをまとめるために、広告と説明書を読み比べていくことを確かめる。 ○ 本時の学習内容について確かめる。	めあて
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 広告のちらしは、どのようなものですか。また、どのようなところにくふうがこらされていますか。 </div>		

<p>2 広告のちらしはどのようなものか読み取る。</p> <p>(1) p. 64・65を音読する。</p> <p>(2) 広告のちらしは、どのようなものか話し合う。</p> <p>(3) そのため、どのようなところに工夫がこらされているか話し合う。</p>	<p>○ 広告のちらしについて書かれている部分に気を付けて音読させる。</p> <p>○ 「どのようなもの」という言葉に着目させ、p. 64. 6・7に書かれていることを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何のためにつくられるのか =商品売るために ・ どんな人に =できるだけ多くの人に ・ 何をうまく伝えようとするものか =商品の特徴やすぐれているところを <p>○ 「そのため」「くふうがこらされている」という言葉に着目させ、p. 64. 7～9に書かれていることを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャッチコピー ・ 写真や絵の使い方 ・ 色やレイアウト など <p>○ キャッチコピー(短くて印象に残る言葉), レイアウト(文字や写真などを組み合わせてうまく並べること)の事例を示す。</p> <p>○ ワークシート(1)にまとめさせる。</p> <p>● 学習が進まない児童には、ワークシート(1)②の表の項目①②③に青線, ④に赤線を引かせ、板書と対応するように視覚化し、表のどの項目に何を書くとよいのかが分かるようにする。</p>	<p>広告のちらし部分の拡大</p> <p>青ペン</p> <p>赤ペン</p> <p>ワークシート(1)</p>
<p>3 【広告のちらし】はどのようなものか読み取る。</p> <p>(1) 【広告のちらし】を音読する。(1文ずつ教師の範読の後、児童の音読)</p> <p>(2) 【広告のちらし】を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>(3) 【広告のちらし】に書かれている事柄や書き方について、気付いたことをワークシート(2)に整理する。</p> <p>① 一人で</p>	<p>○ 範読する前に、横書きの場合、左上段から右下段へ向かって読むこと、写真等の資料についても言語化して内容を説明するように読むことを確かめる。</p> <p>○ 本文にあった「キャッチコピー」「写真や絵の使い方」「色やレイアウト」などに注目させる。</p> <p>○ 商品のよいところをアピールして「買いたい」「ほしいなあ」という気持ちにさせていることに気付かせる。</p> <p>○ 書かれている事柄や書き方について、気付いたことを整理させる。</p> <p>○ ワークシート(2)の【広告のちらし】に矢印を付けたり、線で囲んだりさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品名 ・ 商品の特徴 	<p>【広告のちらし】拡大</p> <p>ワークシート(2)</p>

<p>② 隣の人と ③ みんなで</p> <p>4 広告のちらしについて、分かったことをワークシート(2)にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャッチコピー ・ メーカー名 ● 学習の進まない児童には、ヒントカードを渡し、書かれている事柄や書き方についての気付きを見付ける際の手掛かりにさせる。 ○ 書かれている事柄や書き方について、広告の目的と関連付けて考えさせる。 ○ 本時のめあてに戻って考えさせる。 ○ 広告のちらしは、どんなもので、どんなところに工夫がこらされているか、読み取ったことをまとめさせる。 <p>(例) 広告のちらしは、商品を売るために、商品のよいところを多くの人にうまく伝えようとするものです。そのため、キャッチコピーなどにくふうがこらされています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価【読エ】</p> <p>広告の目的と特徴について整理し、まとめている。</p> <p>[ワークシートの記述内容]</p> </div>	<p>ヒントカード</p> <p>分かったこと</p>
---	--	-----------------------------

6 評価について

評価規準	「おおむね満足できる」状況 (B)	「十分満足できる」状況 (A)	「努力を要する」状況 (C)
<p>広告の目的と特徴について整理し、まとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告がどのようなものか、どのようなところに工夫がこらされているか、記述している。 (例) ◇広告のちらしは、商品を売るために、商品のよいところを多くの人にうまく伝えようとするもので、そのため、色やレイアウトなどにくふうがこらされている。 ◇広告のちらしは、多くの人に商品を買ってもらえるように、商品のよいところを伝えるものです。そのため、多くの人にとまるように、写真や絵の使い方がくふうされています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告がどのようなものか、どのようなところにどのような工夫がこらされているか記述している。 (例) ◇広告のちらしは、多くの人に買ってもらえるように、商品のよいところをうまく伝えようとするもので、よいところをキャッチコピーや写真で表したり、明るい色を使ったりしてくふうがこらされている。 ◇広告のちらしは、商品を売るために、商品のよいところを多くの人に伝えようとするものです。そのため、家族の写真をのせてだれでも使えることを知らせたり、ハートマークを使 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫がこらされているところを羅列しただけで、まとまりのある文章として記述できていない。 ・ 教科書のどこに着目して読めばよいのか分からない。 (支援) ◆ワークシートを再確認し、言葉を補うようにしたり、文と文をつなぐ言葉を考えたりできるようにする。 ◆教科書の叙述のうち、広告がどのようなものかについて書かれているところには青線、工夫がこらされているところについては赤線を引かせ、叙述を視覚化して示す。

		ったりして、買いたくなる ようなくふうがされてい ます。	
--	--	------------------------------------	--

7 ヒントカード

<p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none">・商品の特<small>とくちよう</small>徴・会社名・体温計の写真・色分け
